

エチオピア月報(2019年9月)

主な出来事

【内政】

- 1日, 南部諸民族州議会は, ミリオン・マティアス新州知事代行を任命。
- 4日, 国家選挙管理委員会(NEBE)は, 次期総選挙において約5,000万人が投票を行う見込みである旨公表。
- 21日, NISS(国家情報治安局)は, エチオピア国内外でエチオピアにおけるテロ攻撃を画策していたイスラム過激派組織アルシャバーブ及びISISのメンバーと見られる複数名を逮捕した旨声明を発出。

【外政】

- 1-2日, アビィ首相一行はイスラエルを訪問し, ネタニヤフ・イスラエル首相等と面会。
- 20日, 当地外務省は記者会見において, グランド・エチオピア・ルネッサンス・ダム(GERD)に言及し, エチオピアの主権を尊重しない動向は容認できない旨述べた。
- 24日, サヘレウォルク大統領は, グテーレス国連事務総長と会談した。
- 27日, サヘレウォルク大統領は, 第74回国連総会において一般討論演説を行った。

【経済】

- エチオテレコム社が, 民営化に向けて3ヶ年事業戦略計画を発表。
- 8月の食糧インフレ率が23%, 非食糧インフレ率が12%と過去7年間で最高値。
- 外貨不足解決のため, 100億米ドルに上る経済改革政策を立ち上げ。
- GERDの建設進捗は68.3%と順調で, 来年から発電開始見込み。

【内政】

- 1日, 南部諸民族州議会は, ミリオン・マティアス州知事代行の後任として, リストウ・イヤリダウ氏を任命した。(1日, Walter Information Center)
- 4日, 国家選挙管理委員会(NEBE)は, 次期総選挙に関し, 約5,000万人の有権者が投票を行う見込みである旨公表した。(4日, ENA)
- 21日, 当地 NISS(国家情報治安局)は声明を発出し, エチオピア国内外でエチオピアにおけるテロ攻撃を画策していたイスラム過激派組織アルシャバーブ及びISISのメンバーと見られる複数名を逮捕した旨明かした。(23日, FBC)
- 26日, 国家選挙管理委員会(NEBE)は南部諸民族州シダマ県の州昇格に関し, 住民投票を11月20日に予定どおり実施すべく準備を進めている旨声明を発出した。(26日, Addis Standard)

【外政】

- 1-2日, アビィ首相一行はイスラエルを訪問し, ネタニヤフ・イスラエル首相と面会したほか, ホロコーストの犠牲者を追悼するイスラエルの国立記念館を訪問した。両国は, 防衛協力を

模索している模様。(3日, Daily Monitor)

- 19日, アビィ首相は, 当地を訪問したレスター仏文化相と会談を行い, 仏が支援を行っているラリベラの岩窟教会の修復の進展状況等について意見交換を行った。(19日, FBC)
- 20日, 当地外務省は定例の記者会見において, グランド・エチオピア・ルネッサンス・ダム(GERD)に言及し, エチオピアが取り組む GERD 建設について, 同国の主権を尊重しない動向は容認できない旨述べた。(20日, ENA)
- 22日, サヘレウォルク大統領は, 国連総会のマージンにおいて, 国連とアフリカ開発銀行共催のハイレベル会合(持続可能な開発及び国連 SDGS に関する 2030 年アジェンダ)に出席した。(24日, ENA)
- 23-27 日頃, 当地外務省は, 外交団に対し, (外交団をグループ分けし, これらを対象に複数回)GERD に関するブリーフィングを実施し, プロジェクトの現状やエチオピア政府の立場等について説明した。(28日, Walter Information Center)
- 24日, サヘレウォルク大統領は, グテーレス国連事務総長と会談し, 同事務総長は, エチオピアで進展中の改革及びスーダンにおけるアビィ首相の協議仲介を賞賛した。(24日, ENA)
- 25日, サヘレウォルク大統領は, 国連総会のマージンでハムドック・スーダン首相と会談し, 同首相はアビィ首相の協議仲介に対して謝意を表明した。(25日, FBC)
- 27日, サヘレウォルク大統領は, 第 74 回国連総会において一般討論演説を行い(アムハラ語使用), GERD 等に言及した。(28-30日, Daily Monitor)

【経済】

1. 経済全般・財政・金融

- エチオピア政府は, 推定コスト 139 億ブルをかけて 5,050 万ヤード分の肥料を購入する。同肥料は今後 3 年間の農業生産性向上のために使用され, 各地域に配られる見込み。(1日, Fortune)
- 財務省は, 3 年間の経済改革プログラム中に, 金融分野が外国関係者に開かれることはない」と述べた。同省は, 改革プログラムの目的は, 国の債務ストレス, 外貨不足, インフレ等の経済不均衡を是正することに加えて, 経済成長を加速させることであり, 外国関係者への金融セクターの開放は含まれていないと説明した。(1日, Capital)
- エチオピアの銀行は, ディアスポラへの金融セクターの開放に関連して, ディアスポラに対して株式売却開始を検討している。(1日, Capital)
- エチオテレコム社が, 今後の通信分野における民営化に向けて 3 ヶ年事業戦略計画について発表した。(1日, Fortune)
- エチオピアの 8 月のインフレ率は, 食糧インフレ率が 23%, 非食糧インフレ率が 12%と過去 7 年間で最高値に達した。(7日, The Reporter)
- エチオピアは観光分野において, 2018 年 7 月から 2019 年 6 月までで, 31 億 7,900 万米ドルを獲得した。(13日, The Ethiopian Herald)

- エチオピア政府は、今後数十年間続く恐れのある外貨不足解決のため、100 億米ドルに上る経済改革政策を立ち上げた。(15 日, Fortune)
- エチオピア道路当局は、アムハラ州にて 22 億ブルにも上る道路プロジェクトを行う。同プロジェクトは 3 年以内に完了する見込み。(22 日, The Ethiopian Herald)
- 19-20 日、アフリカ開発銀行は政府間開発機構 (IGAD) 及びパン・アフリカ商工会議所 (PACCI) との会議を開催し、民間セクター、特にエチオピア-ジブチ付近の中小企業の貿易円滑化支援のため、3 年間で最大 30 万米ドルの支援を行うことを明らかにした。(22 日, Capital)
- 18 日、水・灌漑・エネルギー省は、グランド・エチオピア・ルネッサンス・ダム (GERD) に係る会合にて、エジプトがエチオピアに要求した水の放出量に関し、3 国間 (エチオピア, エジプト, スーダン) で以前なされた合意に反することから、同意しない旨を明らかにした。(22 日, Capital)
- エチオピア道路当局は、GTP2 の道路分野に計画されている 380 メートルに及ぶ新しい橋の建設プロジェクトを開始する。同局は、2021 年 6 月までに 91 の道路プロジェクトを行う予定。(25 日, The Ethiopian Herald)
- Zemen 銀行とエミレーツ航空は、航空券のオンライン支払いにおいて提携する。ドバイを拠点とする同航空会社は、2006 年にエチオピアへのフライトが就航し、現在は周辺地域のハブ空港として毎日就航している。(28 日, The Reporter)
- 財務省は、エチオピア通信分野の民営化手続き支援を行う企業を募集する旨を発表した。(29 日, Fortune)
- Nisir マイクロファイナンス社は、若手起業家を支援する 5 年計画の一環として、融資額を 20 万ブルから 40 万ブルに引き上げる予定。(29 日, Capital)

2. 貿易・投資・ビジネス

- 8 月 31 日、クリフト・リゾート & スパは、ビジョフツに敷地面積 7,200 平方メートルのウォーター・アミューズメントパークをオープンさせた。(1 日, Fortune)
- 日本の国際協力機構 (JICA) は、エチオピアにタイヤ再生工場を設立するプロジェクトを行う予定。同プロジェクトは、フクナガエンジニアリング株式会社によって実施される。(1 日, Fortune)
- エチオピア産業投入開発企業 (EIIDE) は、食用油の供給停止の決定を下したが、同企業は 2012 年から 5 年間にわたって貿易・工業省へ供給したものに対して、5 億 9,700 万ブル分支払われていないと主張している。同企業は、資金難に直面しており、財務省に供給再開の前に支払いをするよう求めている。(8 日, Fortune)
- Dashen 銀行は、本社の裏に 30 階建ての建物を新たに建設することが明らかとなった。(8 日, Capital)
- 5 日、MIDROC テクノロジーグループは、9,310 万ブルかけて新たに建設資材店を建設する。

(8 日, Fortune)

- オランダの Belcash 社は、バイヤーが貨物の注文、支払い及び受取を行うことができる電子取引アプリケーションを開発した。同アプリケーションは、地元のサプライヤーとメーカーが自社製品を宣伝及び販売できるようにすることを主な目的として開発された。(8 日, Fortune)
- カタールのカタラホスピタリティが、アフリカのホスピタリティ・セクターに5億ユーロを投資する見込み。(14 日, The Reporter)
- 関税庁が、違法たばこ取引を防止する MOU を締結したにも関わらず、違法たばこは依然国内たばこ市場の 40%を占めており、エチオピアのたばこ産業に深刻な影響を与えている。(15 日, Capital)
- エチオピアの燃料販売会社である Total 社は、政府が燃料流通価格の利益率を改定するのであれば、今後5年間で1億米ドルを投資する旨述べた。(15 日, Capital)
- EI-Taxi 社は、自動車配車アプリを新たに開発した。同会社は、アディスアベバ市内に 10,000 人の運転手を登録する予定で、その他バハルダール、アダマ、メケレ及びディレダワでの事業拡大も計画している。(21 日, Reporter)
- ドバイ商工会議所は、エチオピア企業のドバイ進出のための条件を整えるとともに、エチオピア市場、とりわけ観光及び不動産業へ参入する見込みであることを明らかにした。(21 日, The Reporter)
- 鉱業・石油省は、2018 年 7 月から 2019 年 6 月までに鉱業分野に 30 億ブル超の投資があったと述べた。同省は、総投資額のうち約 11 億ブルが、金、大理石、鉄、宝石の調査と生産に、残り約 20 億ブルが石油探査、生産及び天然ガス検査プロジェクトに投資されていると述べた。(22 日, The Ethiopian Herald)
- イギリスのコンサルティング会社とオックスフォード・エコノミクスが共同で作成した投資家のリスクと利得に応じてランキングしている報告書において、エチオピアは 10 点中 8 点を獲得し、アフリカでトップとなった。(28 日, The Reporter)
- Ethiopian Shipping & Logistics Service 社は、アメリカの Oracle 社と提携し、ERP と呼ばれる新しい物流管理システムを導入する。(29 日, Fortune)
- オロミア州にあるアトラスリゾートは、2,500 万ブルをかけて新しく遊園地を敷地内に建設する。同遊園地は 11 月末までに開園予定。(29 日, Capital)
- 24 日、アルバミンチの上下水道局は、M-birr を開発した MOSS powering 社と水道料金の徴収に係る契約を締結した。M-birr の使用によって、インターネットに接続せず、電話で水道料金の支払いをすることが可能となる。(29 日, Capital)
- ハイアット・ホテルズ・コーポレーションは、2021 年までにアフリカでのハイアットブランドのホテルを 15 に増やすことを明らかにした。(29 日, Capital)
- Ethiopian Shipping & Logistics Service 社は、ジブチへの輸送に使う 150 台の大型トラック調達に係る入札を 10 月の第 3 週に延期することを明らかにした。(29 日, Capital)
- マリオット・インターナショナルは、2023 年末までにアフリカで 40 の施設及び 8,000 の客室を

追加で建設する予定であると発表した。同プロジェクトは、20 億米ドル以上の投資を促進し、12,000 人を超える雇用を創出する見込み。(29 日, The Ethiopian Herald)

3. エネルギー

- インド及び中国企業が、8,000 万米ドルかけて 6 つの地方都市(ワライタソド, ハラール, シャシャマネ, アディグラット, ゴンダール)における配電線の改修プロジェクトを入札した。(8 日, Fortune)
- 11 日, PPP 理事会による会議にて, サウジアラビアの企業 ACWA 社が提案する 2 つのソーラー発電プロジェクトの入札に関して, 3 億米ドル相当の契約が承認された。同プロジェクトは当初 IFC からの支援があるとされていたがなくなり, 提案書の提出は ACWA 社のみであった。(8 日, Capital/14 日, The Reporter)
- グランド・エチオピア・ルネッサンス・ダム(GERD)プロジェクト関係者は, 同ダムに係る建設は, 現在 68.3%が完了しており, 順調に進んでいると述べた。来年から 750MW の発電が開始される見込み。(26 日, The Ethiopian Herald)

4. 工業・運輸

- エチオピア投資委員会(EIC)と工業団地公社(IPDC)は, バハルダール工業団地にある 8 つの貸工場を香港の繊維・衣料品会社に貸し出すことに合意した。同工場では, 縫製製品の製造を行い, バハルダール大学及び地元の服飾学校の卒業生を雇用する見込み。(14 日, The Reporter)
- ハワサ工業団地は, 団地内にある 52 の貸工場が, 21 の外国企業に貸し出され, 完全な運用開始の準備が整ったと発表した。(15 日, The Ethiopian Herald)
- 中国の繊維製品メーカーである, サンシャイン・エチオピア・ウール・マニュファクチャリング社は, エチオピアへの投資を当初の 3 億 5,000 万米ドルから 9 億 8,000 万米ドルに引き上げる予定。同社は, 当地が同社の輸出計画で重要であるということを示しつつも, 度重なる停電が製造ラインに悪影響を与えることを懸念している。(15 日, Capital)
- B&C アルミニウム社は, シダマ地域に水のボトル詰め工場を建設するために, 4 億 1,000 万ブル超を投資した。(15 日, Fortune)
- Abay 工業開発社は, アムハラ州に建設中のセメント工場の原料調達のため, 鉱山・石油省より赤土, 石灰岩, 石膏採掘における 20 年のライセンスを獲得した。同セメント工場は 2019 年 3 月に建設が開始され, 建設完了には 2 年かかる見込み。同工場の稼働によって, 2,200 人の雇用を創出する。(22 日, The Ethiopian Herald)
- 17 日, OCP グループの子会社である OCP アフリカは, エチオピアの農業分野において, 企業とスタートアップ企業との連携構築を図る Impulse と呼ばれるスタートアップ企業の発展促進プログラムを開始した。(22 日, Capital)
- 10 月より電気自動車組み立てを行う, Tom Renewable Electric Bike Assembly & Sales 社は,

電気自動車の組み立てを開始する。同電気自動車は、最大時速 40km で走行し、標準の 220 ボルト電気コンセントを用いて充電する。フル充電には 4-6 時間程度かかり、一度の充電で 60km 走行できる。(29 日, Fortune)

5. その他

- アディスアベバ交通管理局は、市内ピアッサ地区に 300 万ブルをかけて 7 つの速度計測装置を設置した。(1 日, Fortune)
- 食糧援助を必要としている国内避難民及び干ばつの影響を受けた人々に対して、エチオピア政府は、小麦の追加調達を計画している。(5 日, Fortune)
- 世界最大の動物用医薬品及びワクチンを製造している Zoetis 社は、エチオピア政府からワクチン登録の承認を受けている。同社は、アフリカ最大の家畜数を持つエチオピアで、家畜の生産性及び健康の向上に取り組む。(28 日, The Reporter)

6. 各国動向

- 欧州連合(EU)は、エチオピア国内 28 の地域で生産するコーヒーの品質と生産量を増やすことを目的としたプロジェクトに、1,050 万ユーロを贈与する。(8 日, Fortune)
- 16 日、労働・社会問題省のエルゴギ大臣は、サウジアラビアのサミ駐エチオピア大使と会談し、署名された労働者派遣について議論した。(17 日, The Ethiopian Herald)
- 中国貧困緩和財団(CFPA)は、アディスアベバに事務所を開設し、保健・衛生、教育、産業振興、災害救援分野での支援プロジェクトを立ち上げる。同財団は、エチオピアの公立小学校に 43,000 の通学鞆を寄付する。(20 日, The Ethiopian Herald)